

平成 23 年度 市政アンケートモニター一識調査反映状況

	調査名（実施課）	反 映 状 況
1	外出先での防災意識について （消防局予防課）	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響で防災に関する関心が高かったことから、秋季・春季の火災予防運動の各イベント等において、防災に関するチラシ配布を行うとともに、今回の調査結果を防火管理講習会及び防災管理講習会において参考に公表している。
2	市民活動について （市民生活課）	<ul style="list-style-type: none"> ・「市が取り組むべき市民活動を広めるための支援策」として「市民活動団体情報の充実と提供」が33%と最も多い意見だったことから、平成24年3月に策定した第2次静岡市市民活動促進基本計画において、市民活動の課題のひとつとして情報発信を取り上げ、施策「市民活動への参加の促進」でも情報発信の充実を記載した。 ・市民活動への参加意欲の問いにおいて「60代」の参加が97.1%、「50代」が81.8%と多く、また、全世代で高い傾向だったので、企業退職予定者をメインターゲットとし、市民全般に市民活動への参加を呼び掛けるイベントの実施を、平成25年度の重点戦略に基づく重点事業として検討している。
3	放任竹林対策について （清流の都創造課）	<ul style="list-style-type: none"> ・放任竹林対策ボランティア団体の開催する会議や、市との打合せ会などをおこなう際には、アンケート調査結果である【9割近くが、放任竹林の存在は知っているが、活動を行う団体の存在は知らない】との市民意識の現状を伝えることにより、団体の存在を知ってもらうための新たなPR手法や活動の周知、PRを意識したイベント開催など、各団体独自の活動を考察、実行するよう心掛けてきた。 ・平成24年12月7日に、「第2回生物多様性市民フォーラム」を開催し、里山環境団体のみならず、各環境団体に対し、里山整備の活動状況を報告する予定である。 ・団体以外の一般市民に対しても、現状に対する理解と周知を促し、環境活動の良さを伝えて参加を促すよう啓発に努めるとともに静岡市ホームページ内の「生き物探検手帳」への活動掲載やPRに努めていく。 ・当初は、荒廃した環境の保全・再生のためには「竹林伐採」活動への参加の呼び掛けが必要であると考えていたが、活動への参加意識が低いアンケート結果や、重労働で危険が伴う作業であるため、活動への参加の呼び掛けではなく、生物、植物などの「自然体験」活動へのPRを中心に啓発していきたい。
4	市歌について （行政管理課）	<ul style="list-style-type: none"> ・市歌の認知度が37%と大変低い結果だったため、市主催で行われる市民対象のイベントで市歌を流してもらえるようイベント主催課へ働きかけ流してもらった。 ・また、ゆるキャラまつりのような対外イベントでも積極的に市歌を利用してもらうよう、出席予定の登呂博物館へCDを配布・利用を依頼した。今後も機会があれば働きかけを行っていく。 ・「他県の人に静岡を紹介する時に聴かせたい」といった「歌のよさ」を評価する意見も多数あった。今冬刊行予定の「全国都道府県の歌・市の歌」（東京堂出版）に静岡市の歌として歌詞の掲載を予定している。 ・「市民が多く集まる場所で市歌のPRをすべき」という意見が多かった。旧静岡市・旧清水市合併10周年記念式典で、小学4年生合同合唱団の合唱曲として使用する企画を予定している。

5	<p>静岡市男女共同参画について (男女共同参画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画を推進するためには、どのような取組みが効果的だと思うか」の問いに対し、市民の意識改革への取組みとなる「啓発活動の推進」、「広報活動の拡充」、「講演会等の内容の充実」などの意見が 35 件（全体意見数 78 件）寄せられた。このことから、現在、啓発事業として実施している講演会や出前講座などを、今後も継続的に実施する。また、広報活動等については、男女共同参画週間の PR 方法の拡充や各事業について報道への情報提供を積極的に行うこととした。
6	<p>市民との協働による道路整備について (道路保全課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「8月の道路ふれあい月間または8月10日の道の日」の認知について、両方知っている方が98人中3人と非常に少なかったことから、3区の自治会連合会の総会場で周知活動を行うとともに単位自治会・町内会あてに周知チラシを配付した。 ・また、道路愛護活動の活動内容や参加実績、道路サポーター制度の認知度も低かったことから、周知活動やチラシの内容には道路ふれあい月間の内容だけでなく道路愛護活動や道路サポーターについても含めた内容にしている。 ・周知不足が課題であることが分かったので、自治会等へのチラシ配付以外にも広報紙（広報しずおか）の効果的な活用方法や道路サポーターへ登録されている企業を活用した周知方法について検討する。